

9月16日～30日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
04/09/16 (木)	東京は20P強のレンジ内で膠着相場。新規材料に乏しく、植田、福井発言も大勢には影響なし。欧米は対ユーロなど欧州通貨で一時ドル買い進むもFF連銀指数の悪化で再びドル売りへ、行って来い。	・スイスが政策金利を25BP引き上げ ・8月の米CPIは+0.1%、7月の米国金融資産海外投資家買い越し額は640億ドル、9月のFF連銀景況指数は13.4	・植田日銀審議委員「景気減速してもそこそこの成長率で景気は推移」 ・福井日銀総裁「量的緩和政策を約束に沿ってしっかり継続」 ・スノ-米財務長官「米国は強いドルを支持する」	110.00 109.47 110.07 109.57	133.66 133.06 133.79 133.49	24H 寄付 安値 高値 終値
04/09/17 (金)	東京は円がギリ安、溝口発言が円ロソグの落としを誘発した格好となり、とくにクロスで円弱含み。欧米は円が統落。日経平均株安に加え、原油高を嫌気した円売りも散見された。	・9月の米シカゴ大消費者信頼感指数速報値は95.8	・溝口前財務官「大量介入なければ昨年中に相当の円高になっていた」	109.57 109.33 110.25 109.85	133.49 133.33 134.46 133.81	24H 寄付 安値 高値 終値
04/09/20 (月)	東京市場休場でアジア時間は目立った取引なし。 欧米で原油先物が46ドル台と約1ヶ月ぶりの高値をつけたことなどから一時円売り進むも、後半失速。		・シソ独IFO所長「独景気は第2四半期にピーク、その後減速へ」 ・ユソ社は中国向けの原油輸出を停止する」との一部報道あり ・スノ-米財務長官「米経済は正しい方向に進んでいる」	109.85 109.68 110.13 109.85	133.81 133.14 134.06 133.76	24H 寄付 安値 高値 終値
04/09/21 (火)	東京市場は109円台から仲値にかけて実需と一部信託の買いで110円台を回復したものの動意は薄い。欧米はユーロが独歩高、米利上げは予想通りで影響薄。むしろ米テロ懸念が材料視されドル買い難い。	・8月の米住宅着工件数は200万戸 ・米国がFOMCで25BPの利上げ ・FOMC声明「インフレとインフレ期待、エネルギーコスト上昇にもかかわらず緩和」	・スノ-米財務長官「柔軟な為替制度に向けた中国の前進に勇気づけられるが満足はしていない」 ・ワシントンポスト「アルカイダが米大統領就任式までに米テロ攻撃を行なうかも示れない」	109.86 109.58 110.18 109.63	133.78 133.67 135.63 135.24	24H 寄付 安値 高値 終値
04/09/22 (水)	東京は翌日の休日ならみで取り組み少ない。109円後半を中心とした相場に終始。欧米で円安進行。来月初旬発表の日銀短観があまり良くないとの噂が材料視されていた。	・8月の貿易黒字は5761億円	・岩田日銀副総裁「日本経済は来年度も景気回復持続するのは間違いない」 ・渡辺財務官「G7で為替相場はあまり議論されないだろう」	109.65 109.59 110.75 110.58	135.26 135.09 135.71 135.68	24H 寄付 安値 高値 終値
04/09/23 (木)	東京市場休場のなか、北朝鮮がらみの報道から円売り進む。ユーロ/円は136円台へ。欧米はドルが小幅高。北朝鮮報道で円が買い難いなか、ドル金利の上昇を受けドル小じっかり。	・8月の景気先行指数は 0.3% ・8月の米FOMC議事録「超低金利考慮すれば大幅な追加利上げ必要になる見通し」	・「北朝鮮がミサイル発射準備の兆候」との一部報道あり ・中国の温家宝首相「インフレは減速している」	110.59 110.25 110.93 110.77	135.65 135.58 136.50 135.93	24H 寄付 安値 高値 終値
04/09/24 (金)	東京は早朝発表された第三次産業指数が大きく予想を下回ったものの円売り限定的。欧米は発表された米耐久財受注の悪化からドル売りに反応するも、結局行って来い。	・7月の第三次産業指数は 0.8% ・8月の米耐久財受注は 0.5%	・谷垣財務相「G7では原油価格高騰の影響など世界経済議題に」 ・独代表筋「G7で為替政策について声明の変更はない見通し」	110.79 110.28 110.86 110.61	135.93 135.54 136.50 135.63	24H 寄付 安値 高値 終値
04/09/27 (月)	週末の英紙報道を受けて東京はドル安で寄り付き。しかし具体的な内容がなかったことで相場は反転。欧米は円が独歩安。原油高を嫌気した円売り意欲強く、ドル/円は111円台へ。	・内閣改造実施、谷垣財務相・中川経産相は揃って留任。一方、竹中経財相は金担相を外れ、郵政事業民営化担当相との兼任に ・9月のIFO景況感指数は95.2 ・WTIが時間外取引で50ドル突破へ	・26日付一部英紙「G7でドル切り下げの圧力が高まるだろう」 ・一部米大手投資銀が「原油価格は61ドルになる可能性がある」とのレポート送信 ・NYに日銀介入の噂あり	110.49 110.43 111.40 111.27	135.72 135.65 136.96 136.80	24H 寄付 安値 高値 終値
04/09/28 (火)	東京で円統落。原油価格が時間外で続伸、一時50ドル半ば近辺まで上昇したことが嫌気された。欧米でドルは高止まり。原油高が一服、米国で地震発生との報道からドル売りも見られたが下値も堅い。	・9月の米消費者信頼感指数は96.8 ・米カリフォルニアで2度にわたって強い地震起こる	・細川官房長官「原油価格の適正水準は18～25ドルぐらい」 ・谷垣財務相「最近の円相場はレンジ内、G7では議論にならず」	111.26 111.12 111.71 111.36	136.77 136.65 137.56 137.27	24H 寄付 安値 高値 終値
04/09/29 (水)	東京は小幅に円高。原油高止まりなどを懸念しつつも期末を前にした駆け込み的な円買い手当て優勢。欧米で英ポンドが急落。キッカはバーカー発言とされ、対ドルやユーロなどで一人負け状態。	・第2四半期米GDP確定値は2.8%から3.3%に上方修正	・中平元財務官「日本経済は原油高に免疫ある」 ・バーカー-BOE金融政策委員「英金利はピークに近づいている可能性」 ・「ナイジェリアの反政府勢力が停戦で合意」との一部報道	111.35 110.65 111.38 110.86	137.25 136.28 137.29 136.74	24H 寄付 安値 高値 終値
04/09/30 (木)	東京の朝方は期末の需給を睨み右往左往。終盤はテロに対する警戒感などから円小安。欧米でドルは独歩安。米テロに対する警戒感が急速に強まるとドル売り進む。とくに対ユーロで大幅安に。	・8月の鉱工業生産は+0.3% ・9月の外国為替平衡操作額はゼロ ・8月の米個人所得は+0.4%、同個人消費支出は0.0%、9月のシカゴPMIは61.3	・首相官邸前で乗用車炎上、自称右翼の男逮捕される ・イラクの爆弾テロで死者が46名に ・ワシントンのキャピトルビルで不審物発見、職員らが避難	110.85 109.80 111.24 110.03	136.72 136.38 137.41 136.83	24H 寄付 安値 高値 終値

\* 製作・著作：「FXニュースレター」

URL: <http://www.fx-newsletter.com/>